

### (R8.3.6 賛成討論 池田)

議案第22号 令和8年度多賀城市一般会計予算に賛成の立場から討論をいたします。

令和8年度多賀城市一般会計当初予算は、令和7年度当初比5,600万円増の305億6百万円と過去最高の予算規模となっておりますが、市長が令和8年度予算を「グッドバランス予算」と述べられましたとおり、令和8年度は、第6次多賀城市総合計画の後期計画の初年度として、前期計画の5年間の成果を今後5年間につなげていくほか、課題を再定義し、次の5年間で解決していくための事業が各分野でバランスよく計上された予算となっております。

具体的には、前期計画の中で進めてきた中央公園魅力創造事業やスポーツウェルネス施設整備事業、市庁舎耐震対策等事業等を完遂し、未来への道筋をつけていただく必要があり、そのための予算が計上されました。特に、中央公園に整備されたスケートパークは今月14日にオープン予定であり、多賀城南門をはじめとする史跡整備とともに市民の希望となるような管理運営となることを期待いたします。

また、昨年10月1日の大雨により市内に大きな被害があり、安心・安全な暮らしへの不安が募りましたが、原谷地川の改修の予算、止水版の購入や室外機のかさ上げに対する補助の予算が新規計上されました。

併せて、未来への投資として、子ども・若者を含む現役世代が希望をもてる施策が計上されました。令和8年度は、健康診査の対象を40歳未満に拡大するほか、国からの交付金を活用した、小学校の給食費の無償化や小中学校児童生徒のタブレットの更新、山王小学校放課後児童クラブの整備費等が予算計上されました。

一方、歳入については、市税や繰入金などの自主財源が令和7年度当初比1.7%増の131億6,616万3千円、地方交付税や国県支出金、市債などの依存財源が令和7年度当初比0.9%減の173億3,983万7千円となりましたが、人件費や扶助費の増により、今後も一層の財政硬直化が進むものと考えますので、令和7年度当初予算の賛成討論でも申し上げましたが、これまでの施策を振り返り、より大胆な事業のスクラップ&ビルドを市民に見える形で理解を得ながら進めていただき、必要な財源の確保に一層努めていただきますようお願い申し上げます、賛成討論といたします。

(934文字 3分)